消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

１．事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
２．体験した事例の名称	中高層建物火災において、エスカレーターが漏電により動き出した事例。
３．体験した事例の中心的要素	５階建の耐火建物火災において、先着隊到着時、２階が炎上中であったため、１階から２階へ上がる何年も使用してないエスカレーター上を（約１０人一列の状態）ホース１線で防ぎょしながら２階へ上がる途中、漏電によりエスカレーターが上階へ向け動き出し、最盛期である２階フロアへ放水隊員が送り込まれそうになった。
４．体験した事例の原因・理由	現場到着時、火点への消火活動を行うための最も近い進入路はエスカレーターであり、そこで消火活動を行っていた隊員全員が、漏電によりエスカレーターが動き出すとは予想できなかったことだと考えられる。

【体験した事例の直接的原因について】

１．体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。

【体験した事例について】

１．発生日時	平成　20 年 2 月 17 日　　午前　2 時頃
２．発生した当時の天候	晴
３．発生した活動現場	屋内：建物内の１階から２階へ上がるためのエスカレーター。
４．体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
５．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
６．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：漏電によるエスカレーターの誤作動により、炎上階に送り込まれそうになった。
７．事例体験時の活動	火災、現場活動初期　[耐火造建物]
８．（７の活動中）どのような作業中に発生したか	放水活動
９．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

１０．事例体験者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[27]歳、 勤続年数[4]年、 現場経験年数[4] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者Ｂ	年齢[29]歳、 勤続年数[5]年、 現場経験年数[5]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者Ｃ	年齢[38]歳、 勤続年数[18]年、 現場経験年数[18]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [数年に１度程度]、 任務 [隊員]
その他 （当事者が４人以上の場合）	

１１．事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過１	Ａ，Ｂ，Ｃが	現場到着と同時にホース延長した	
経過２	Ｃが	開口部から２階が炎上中であることを確認 した	
経過３	Ａ，Ｂ，Ｃが	動いていないエスカレーターで２階へ放水しながら 進入を試みた	
経過４		突然、エスカレーターが起動し、上方へ向け動き出し た	
経過５		次々に、下方から隊員が上昇してきた	
経過６	Ａ，Ｂ，Ｃが	最盛期である２階フロアへ送り込まれそうになった	
経過７	Ａ，Ｂ，Ｃが	ホースを放置し、エスカレーターを逆走し１階へ脱出 する	
経過８	Ｃが	緊急停止ボタンを押すが、停止せず	
経過９			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。他隊(員)との連携活動がうまくいった。他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

ｃ．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

ｄ．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

ｅ．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

ｇ．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

ｈ．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

ｌ．その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

〇注意力欠如、焦り等の対策について

〇装備・資機材の対策について

〇活動環境の対策について

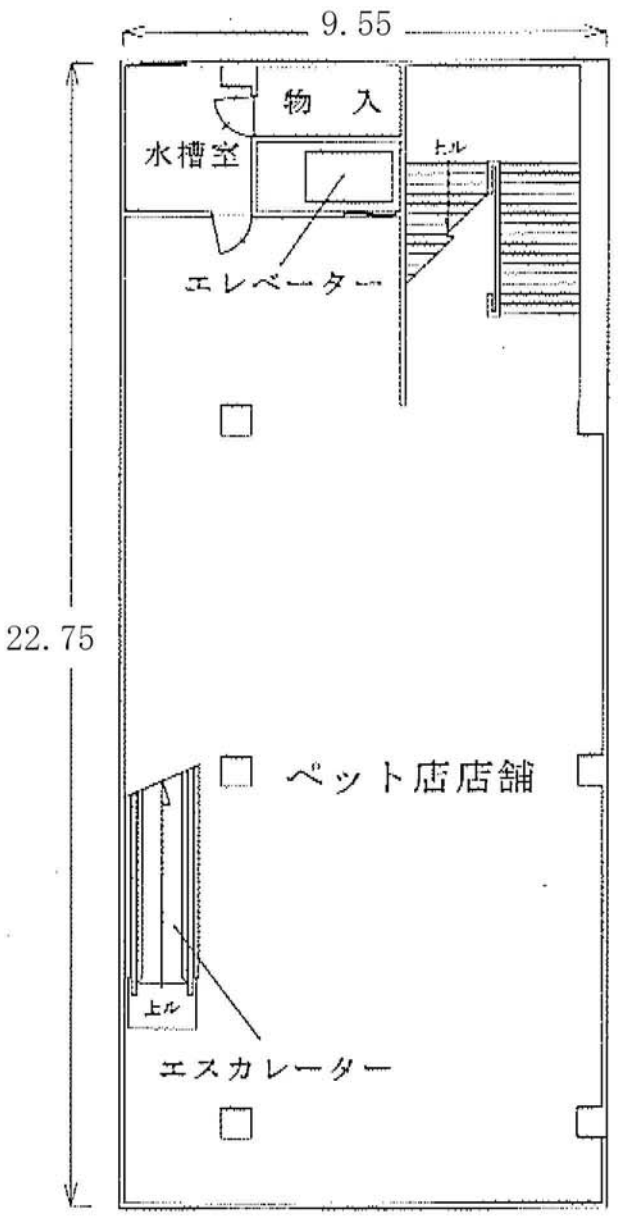
〇指揮・情報伝達の対策について

様式第7号

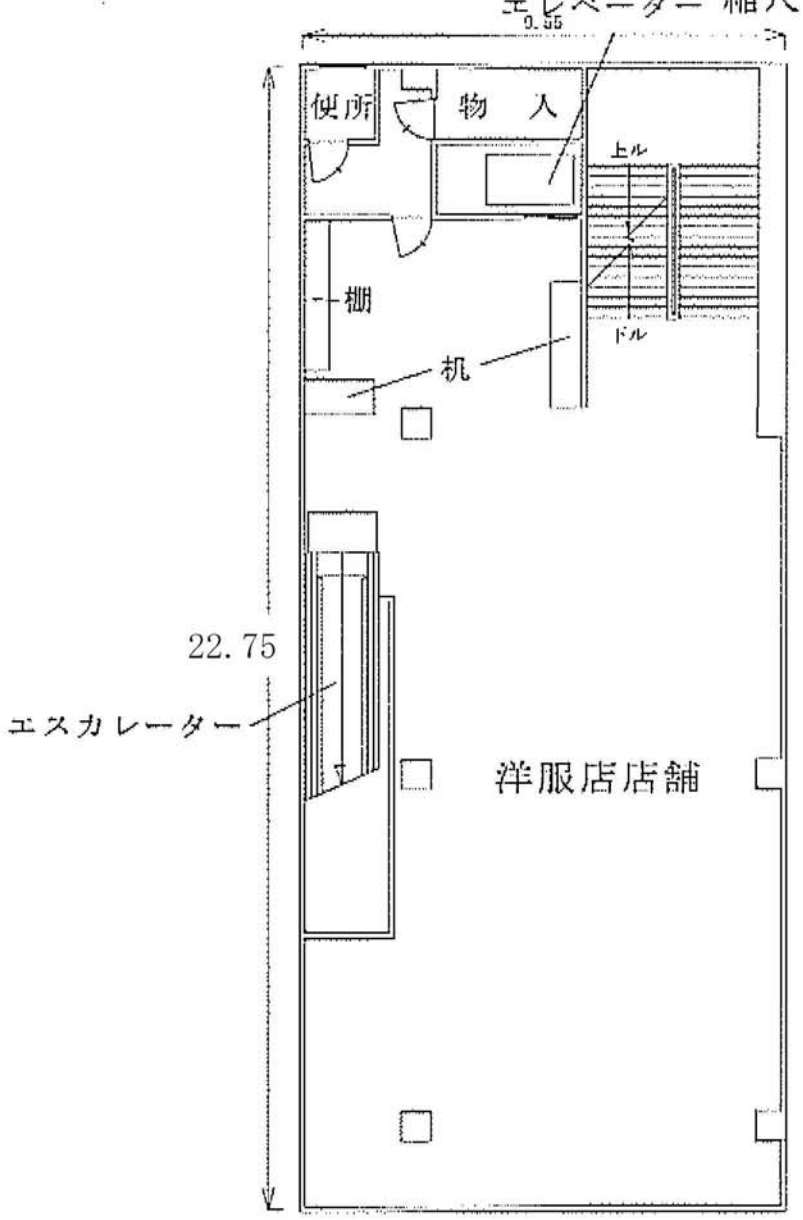
現　場・平　面　図　1

調査員　階級　消防士

縮尺１：１５０



１階部分平面図



２階部分平面図　単位：メートル

○ヒヤリハット事例：中高層建物火災において、エスカレーターが漏電により動き出した事例　(08H0005)
（同様の体験は、初めて体験した。）

・発生日時　：平成20年2月17日　午前2時頃

経過	現場の状況	隊員C 隊員／消防士長 ・年齢 38 歳 ・勤続 18 年 ・現場 18 年 ・同様の活動：数年に1度程度	隊員B 隊員／消防士 ・年齢 29 歳 ・勤続 5 年 ・現場 5 年 ・同様の活動：初めて	隊員A 隊員／消防士 ・年齢 27 歳 ・勤続 4 年 ・現場 4 年 ・同様の活動：初めて	備考
	出場指令				火災出場 5階建耐火建物
	2階炎上中	現場到着			
		ホース延長			
		開口部から2階が炎上中であることを確認			
	火点へ最も近い進入路はエスカレーター				エスカレーターは何年も使用してない
		動いていないエスカレーター上をホース1線で防ぎょしながら1階から2階へ進入を試みる			エスカレーター上は約10人一列の状態
	漏電により、突然、エスカレーターが起動し、上方へ向け 動き出す				消火活動を行っていた隊員全員が、漏電によりエスカレーターが動き出すとは予想できなかった
	次々に、下方から隊員が上昇してきた				
	火災最盛期	**2階フロアへ送り込まれそうに なる**			
		ホースを放置し、エスカレーターを逆走し1階へ脱出する			
		緊急停止ボタンを押すが停止せず			

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○直接的な原因：状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
・体力、反射神経等身体能力が優れていた。
・避難・退避がうまくいった。
・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

（心理・体調について）
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
（その他）
・救急車の側部、後部のドアは半ドア防止のため自動で閉まるという過信。
・自分で閉めた後、まさか他の人がノブのロックを解除した状態にはしないだろうという過信。
・発車直前に半ドア警告灯を確認しなかった不注意。